

# 平成28年度 一般会計決算 13項目の「議会共通指摘要望」を提出

平成28年度一般会計歳入歳出決算認定については、8人で構成する決算審査特別委員会を9月8日に設置し、19日から21日および25日の4日間にわたり審査されました。  
同特別委員会で審査された一般会計決算認定議案は、定例会最終日(10月2日)の本会議において賛成多数をもって認定されました。  
本会議における一般会計決算認定議案に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

## 各会派等の意見表明

### 反対 日本共産党

「決算審査特別委員会」  
委員長 乾 紳一郎  
副委員長 西川 誠之  
委員 近藤 美保  
委員 西尾 段  
委員 野村 誠  
委員 坂巻 儀一  
委員 中村 彰男  
委員 中川 弘

第1の理由は、政治に求められる貧困と格差の拡大に歯止めをかけ、市民の暮らしを守る市政運営になっていないことです。全国の市町村では市税減収により、やむなく暮らしや福祉の削減が進んでいます。いっぽう流山市は、市税が前年比

4.5%も増えています。福祉や暮らしを守る財源がないではありません。ところが、平成28年度は、障害者への福祉手当、難病患者への見舞金削減など、弱者への重箱の隅をつつくような削減を実施しました。

第2の理由は、「母になるなら、流山市。」に惹かれた市民の願いにこたえきれない、子育ての深刻な実態があることです。第3の理由は、県下少ない職員数では、増大する市民要求にこたえられないからです。第4の理由は、つくばエクスプレス沿線土地地区画整理と駅前市有地活用を舞台に、開発優先の市政が引き続き推進されていることです。引き続き、市政を厳しくチェックしていきます。



(下) 決算審査特別委員会  
現場視察の様子



(上) 決算審査特別委員会  
の様子

## 議会共通指摘要望 (全13項目)

平成28年度一般会計決算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望
都市基盤の整備	流山市も費用を負担することとなっている県立市野谷の森公(1)園施設新設事業に早期に着手し、一日も早い完成を目指すよう県と協議をされたい。
	名都借跨線橋道路拡幅改良事業及び東小学校前通学路道路拡(2)幅整備事業においては、残りの用地取得を迅速に行い、早期完成を実現されたい。
生活環境の整備	クリーンセンターごみ焼却炉の運転管理については、日常点検(1)をより一層強化し、長期的な炉の故障・停止にならないようバランス良く稼働させ、過度の負荷のない運転管理を図られたい。
	耐震診断及び木造住宅耐震改修補助事業に対する国の基準が(2)変更されることから、より利用しやすい制度とするともに積極的にPRを行い、地震に強いまちづくりを進められたい。
	(3)消防本部の移転を確実に進められたい。
教育・文化の充実向上	国内最大級となる大規模校が複数・同時誕生するのに備え、(1)学校の現場任せにせず、十分な学校運営に関する知見の収集を教育委員会でも行い現場への情報提供を行われたい。
	公立学校における部活指導などに伴う教師の負担軽減に向けた(2)取り組みを実践されたい。
市民福祉の充実	(1)地域子育て支援センター運営にあたっては、効率的な運営や適正な施設配置の検証を早急に実施されたい。
	将来の保育需要の予測を的確に行い、学童クラブの計画的な(2)整備を行われたい。整備にあたっては、子どもの生活の場としての環境を重視するとともに、大規模化に伴い混雑が想定される子ども達の動線について十分検討し、児童の安全性に配慮する施設設備を行われたい。
	不要な医療費増大抑制のため、流山市が実施している各種健(3)診の確実な受診とその後のフォローを実施する方を検討されたい。
	妊娠から出産・育児まで切れ目のない子育て支援とするため、(4)母子保健の充実を図られたい。また、小児医療の拡充、小児救急医療の体制維持に力を尽くされたい。
産業の振興	(1) LED化した商店街街路灯の電気代の全額補助、街路灯のLED化に3分の2を補助している事業は、来年度も継続されたい。
行政の充実	(1) 広域連携による事業における収支状況が確認できるような説明を決算(予算)審査において提示されたい。

※決算の詳細は広報ながれやま11月21日号をご覧ください。

## 賛成 流政会

流山市は全国まれに見る人口増を実現しましたが、平成28年度は子ども急増状況が明らかになり、新設小学校建設の方針が決定するなど大きな軌道修正を決定した年でした。流政会はこの決断を評価しながらも、きめ細やかな子育て環境は改善すべき点があるとし、地域子育て支援センターの適正な施設配置、日常生活の場となる学童クラブの環境充実、学校の大規模化に伴う対策を早急に研究することを要望しました。防災面では、地域防災計画の改正を職員自らが

## 賛成 自由民主党

人口の順調な伸びに支えられ、歳入歳出とも対前年で増加しており、適正であると認めます。賛成にあたり、数点指摘要望致します。  
①流山おおたかの森駅前市有地有効活用計画事業では、十分な数の駐車場が長期にわたり確実に確保できる方を検討されたい。  
②下花輪駒木線建設、新川南流山線立体交差建設、県立市野谷の森公園施設新設の各事業が遅延しています。当市も負担する事業でもあり、早期完成に向け県との協議を進められたい。  
③教